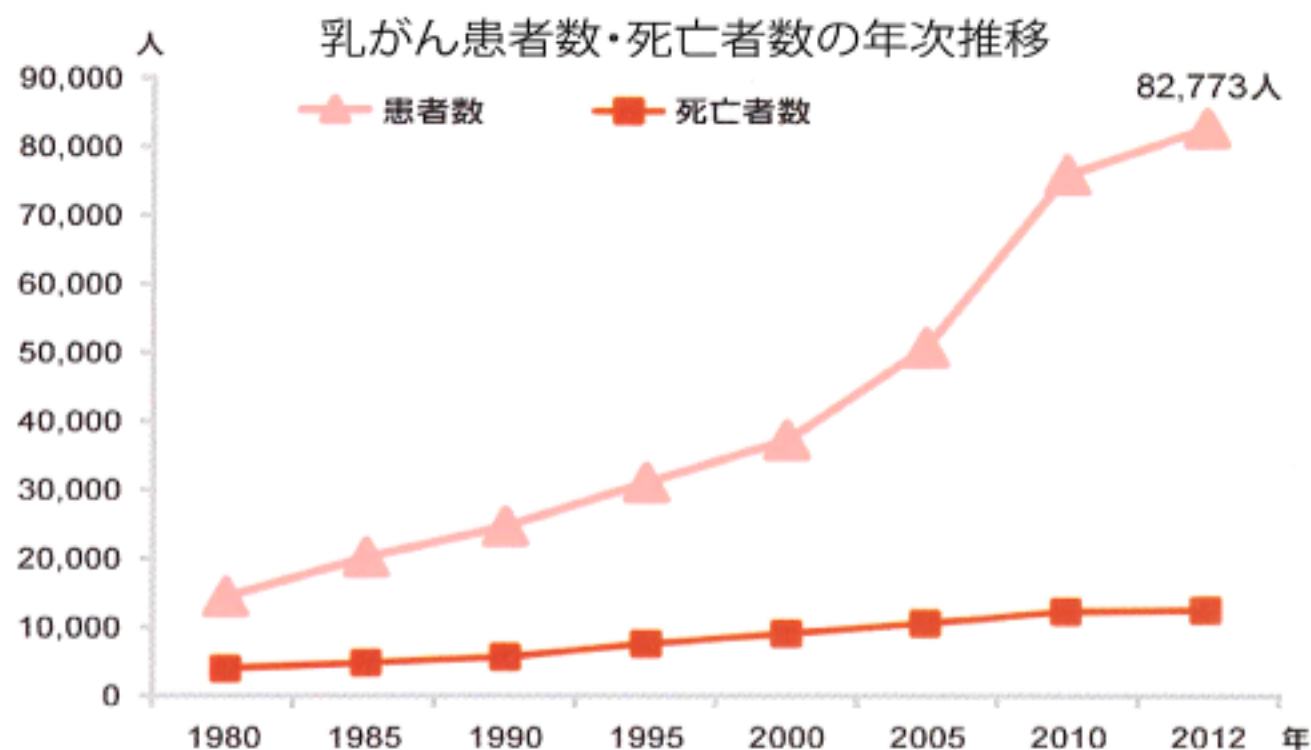


乳がんのリスクを調べる血液検査です。

増加する乳がんの患者数・死亡者数

乳がんの患者数は国内で年間8万人以上と推計されており、女性では最も患者数が多いがんとされています。死亡者数も患者数の増加に伴って増加傾向にあります。



※国立がん研究センターがん対策情報センター地域がん登録による罹患全国推計、厚生労働省平成24年人口動態統計より引用改変

乳がんの特徴

若い方でも安心できない

一般的に乳がんは40代半ばごろから発症していくとされています。しかし、近年は20代、30代と若い方でも乳がんを発症する方が増えてきています。食事や生活習慣の欧米化など様々な要因によって若年性の乳がんリスクが高まっていますので、若いうちから注意しなくてはなりません。

全身へ転移しやすい

乳がんは進行自体は比較的ゆっくりであると言われ、腫瘍が1ミリから1センチ程度になるのに15年ほどかかるとされています。しかし、乳がんは転移を起こしやすいがんであると言われており、がん細胞が比較的小さい段階から転移が発生することもあります。リンパ節や肺、骨、肝臓などへ転移することもあり、転移が進むと再発の可能性が高くなり、完治することが非常に難しくなってしまいます。

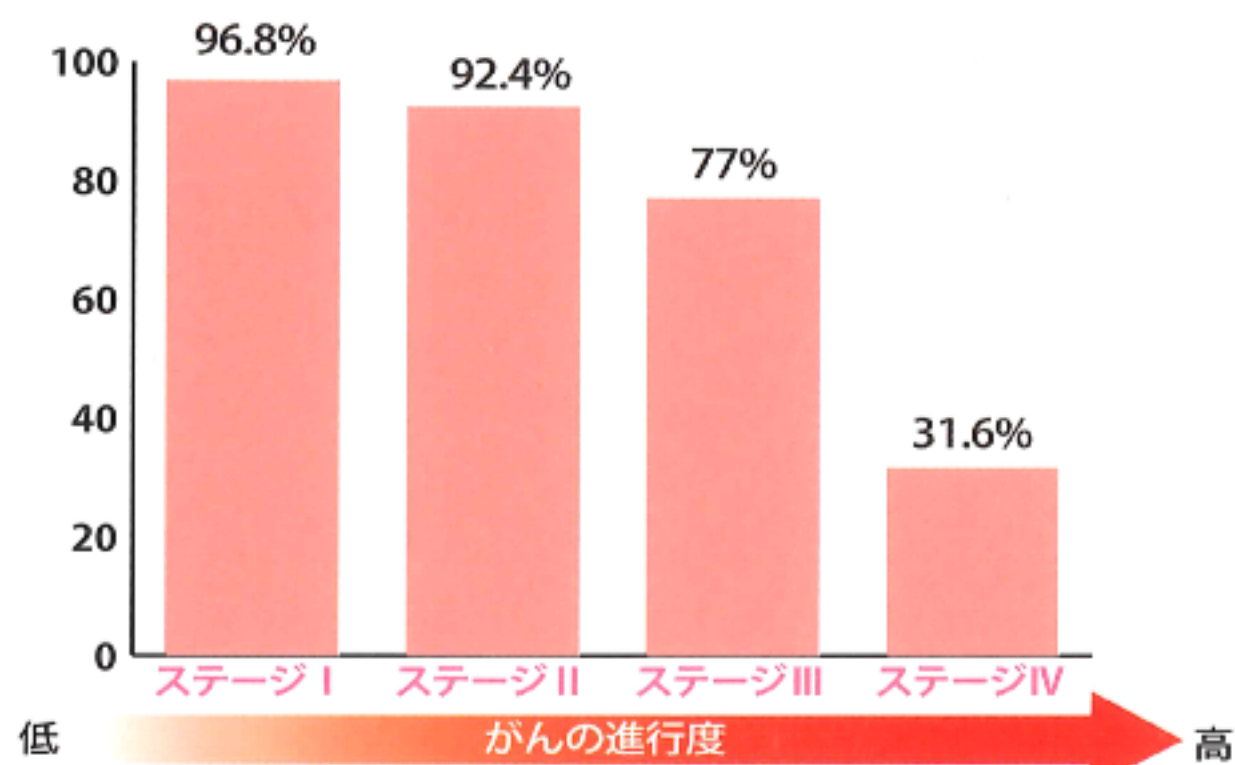


早期発見・早期治療が重要

乳がんは早期で発見すれば「治るがん」ともいわれており、5年生存率はステージ別にみても、早期であれば90%以上、ステージ3の進行がんであってもその殆どが治療によって対処が出来るとされています。

しかし、ステージが進行し転移が進んでしまうと生存率は下がってしまいます。そのため早期発見・早期治療が非常に重要です。

乳がんのステージ別5年相対生存率



※公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計'15」全国がん(成人病)センター協議会加盟施設における5年生存率(2004~2007年診断例)より引用

血液検査で乳がんのリスクを知る

血液検査で簡単に調べることが可能です。

ミアテスト®乳がんリスク検査の流れ

- 1 予約申し込み・同意書の記入**
予約申し込みをします。
検査受診には同意書など書類の記入が必要です。
- 2 採血**
採血による検査を行います。
- 3 検査データ解析**
専門の測定機関で発症リスクを判定します。
- 4 結果報告書の提供**
約3週間後、受診した医療機関より、結果報告書が提供されます。リスクの高い方は食生活・運動など生活習慣の見直しや精密検査の受診をおすすめしています。

受診をご希望の方は、
スタッフにお申し付けください。